

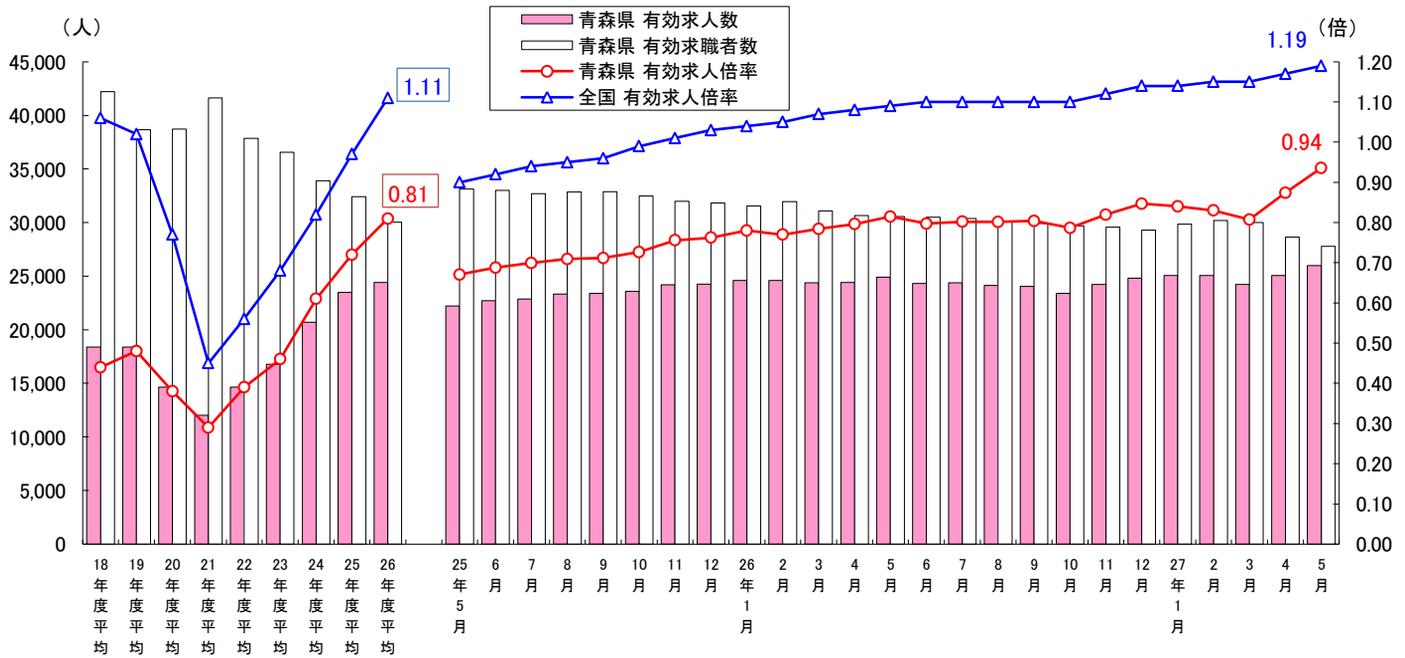
最近の雇用情勢について

(平成27年5月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

5月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.7%増加の25,987人、有効求職者数(同)は3.1%減少の27,771人で、有効求人倍率(同)は前月より0.07ポイント増加の0.94倍となった。

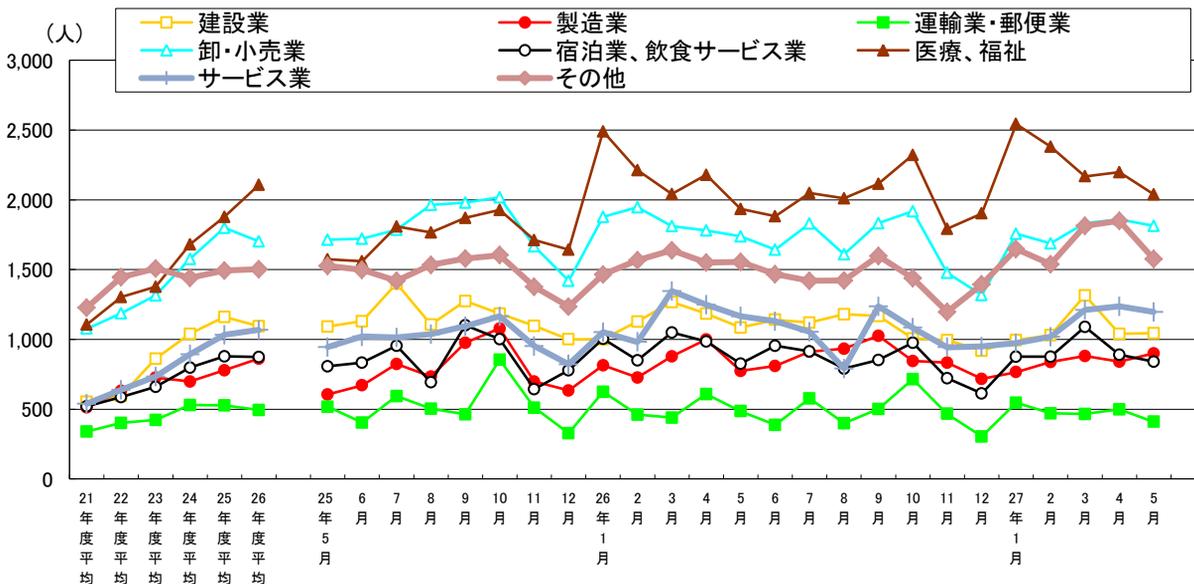


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

5月の新規求人(原数値)は前年同月比2.7%(255人)増加、前月比5.7%(594人)減少の9,822人。

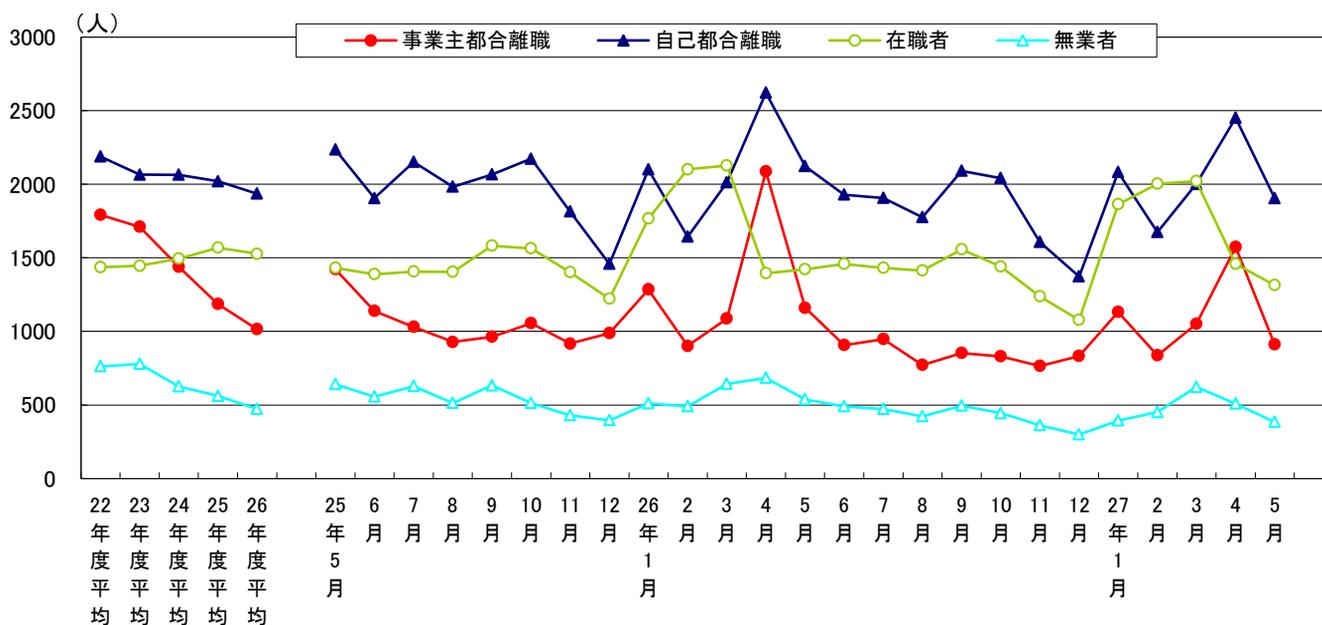
産業別に前年同月と比較すると、製造業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、建設業、運輸業、郵便業では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

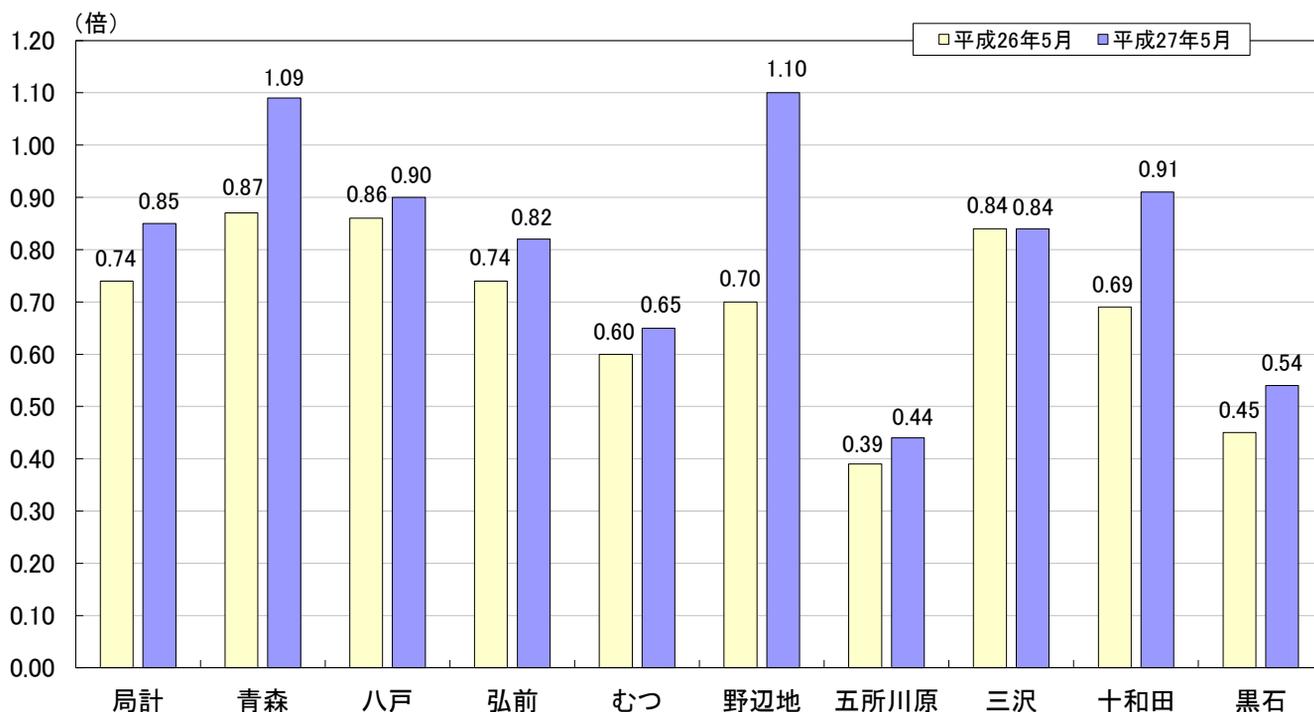
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数は、前年同月比14.0% (754人)減少、前月比26.0% (1,629人)減少の4,638人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.7% (109人)減少し、離職者は14.3% (492人)の減少、
 無業者は、28.5% (153人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は21.4% (248人)の減少、自己都合は10.3% (218人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.85倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

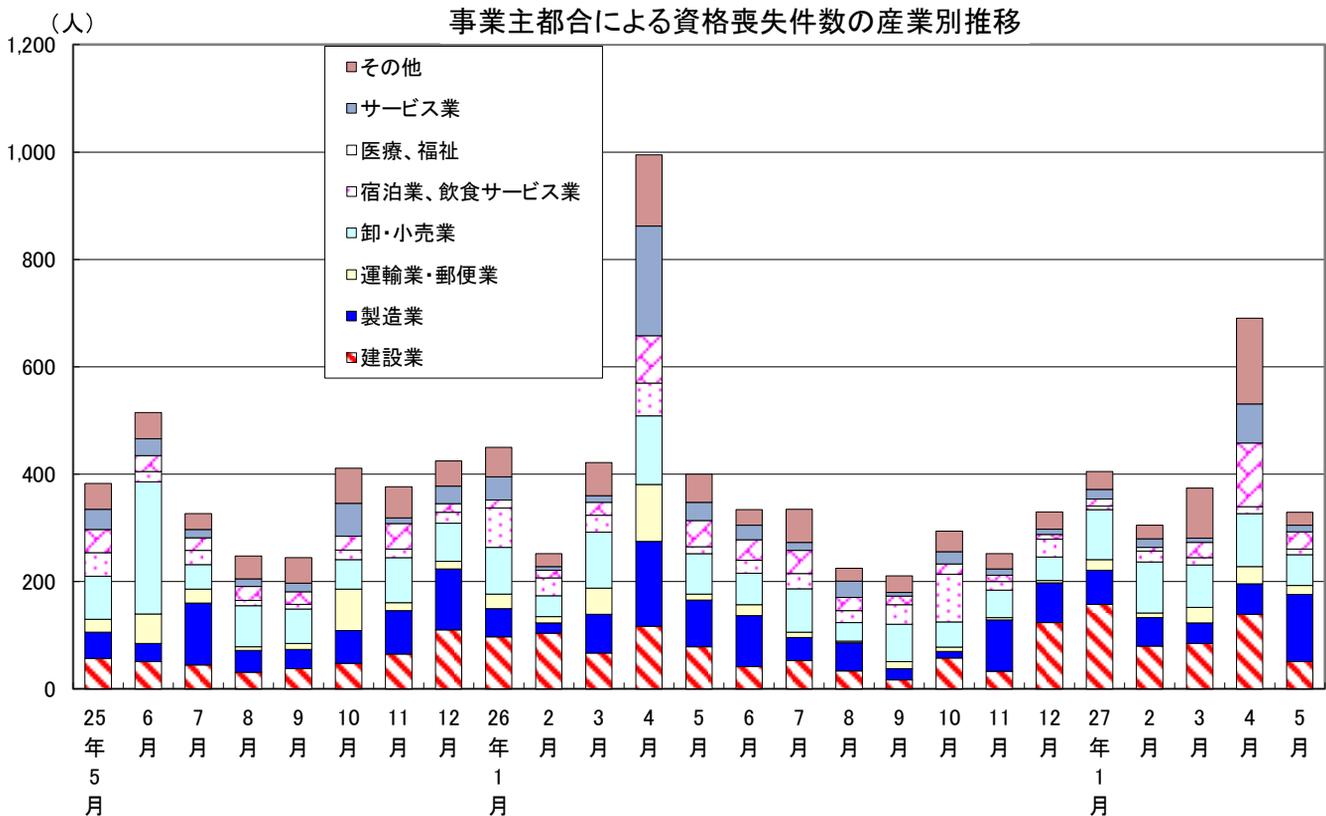
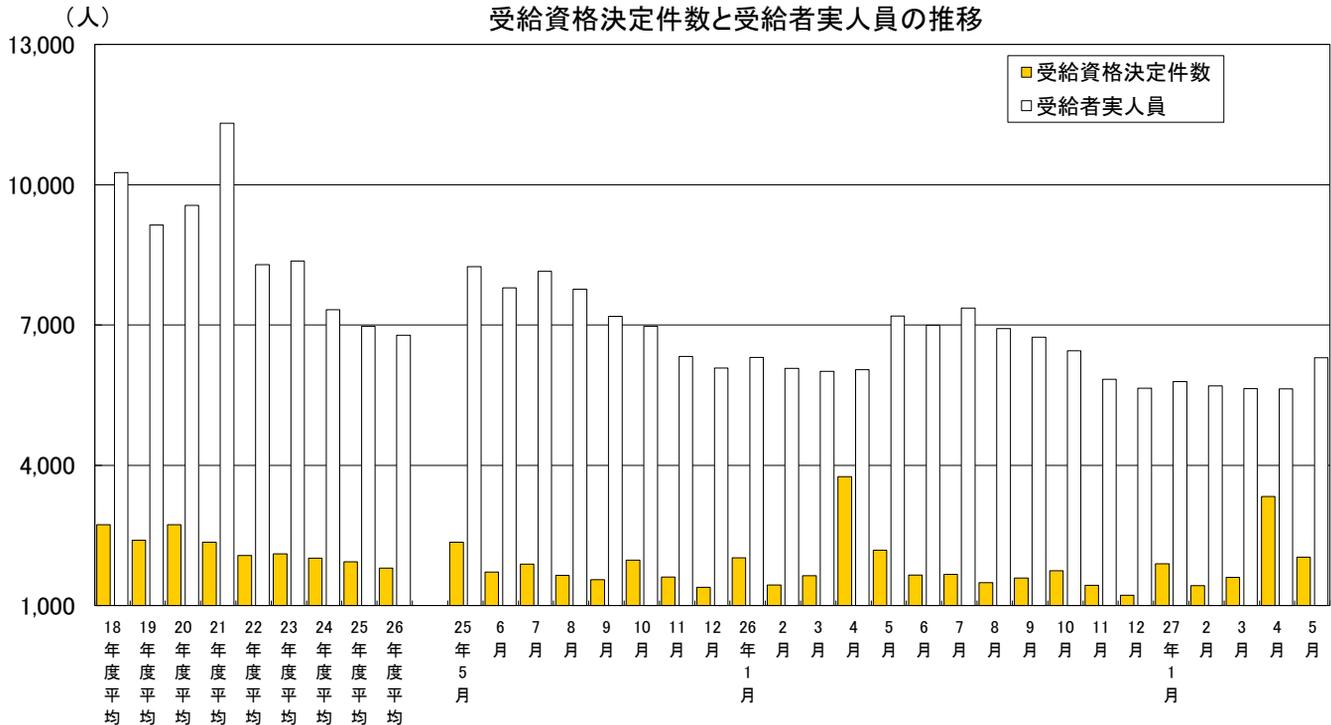


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	29,654	7,139	6,754	5,467	1,475	920	3,115	1,719	1,372	1,693
有効求人数	25,343	7,800	6,101	4,507	961	1,015	1,360	1,443	1,244	912

V 雇用保険の状況

5月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比12.4%（894人）減少、前月比では11.8%（666人）増加の6,298人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比6.7%（146件）減少、前月比では38.8%（1,295件）減少の2,039件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比17.7%（71人）減少、前月比52.4%（362人）減少の329人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。